情報デザイン応用演習I 11.Wordpress復習+α

1



- 1.初めに
- 2. 今後について
- 3. Wordpress 復習
 - i. ユーザ
 - ii. デザイン
 - iii. エディタ
 - iv. Elementor
 - v. テーマ
 - vi. 固定ページと投稿
 - vii. 階層構造
 - viii. メディア

初めに

前回の内容

- float
- flexbox
- CSS Grid

の違いについて前々回に行い、実際に前回

- flexbox
- CSS Grid

を使ってレイアウトしてみました。

今後のCSSによるデザイン

- flexbox
- CSS Grid

を使って大まかにレイアウトをして、あとは

- margin
- padding

を使って余白の調整を行う

というのが基本の流れになっていくとおもいます。



8回目

MAMPと比べて、LocalにてWordpressを簡単にインストールできることを学びました。 また、レスポンシブの確認用にResoponsivelyAppというアプリがあることを紹介しました。

今後の流れ

今日が11回目ですので残り5回です。

- wordpressでポートフォリオサイトを作る
- 静的化する
- 実際に公開できるように外部サーバに設置する
- (就活で利用する)

を目標にしようと思います。

ポートフォリオサイト

本当にいろいろなスキルを見せようと思うのであれば、Wordpressではなく作成した方が良いと思います。

イケてるWebデザインで作られたポートフォリオサイト20選まとめ

ですが、今回はWordpressを利用しましょう。

Wordpressの静的化

「Wordpressってば、コンテンツを管理するシステムなのに、それをDBを使わない HTML,CSSにしちゃうってどういうこと?」

と思われるかと思います。

静的化できないサイト

もちろん、ユーザがログインしたりするようなDBがどうしても必要なサイトでは利用できま せん。

しかし、ポートフォリオサイトの様に、一度作ったら、ページの更新はするものの、ログインや検索機能が必要ないページの場合、静的化にはメリットがあります。

静的化のメリット

バックエンドの計算をせずに、静的ファイルをサーバは送出するだけですので、非常に高速 なサイトを作成することができます。

また、悪意のある攻撃/マルウェアといった脅威から守りセキュリティを強化させることもで きます。

静的化のデメリット

ー度、書き出して、サーバにアップする、という「デプロイ」という作業が必要となりま す。

なぜこれにトライするの?

- Wordpressで本当に利用できるサイトを作ると有料になるから
- 無料で利用できるgithubに慣れてほしいから
- この2つになります。
 - Simply Static
 - WP2Static

等いくつかプラグインがあり、検証しながらどうやっていくか考えていこうと思います。

Wordpress 復習

Wordpress

もちろん、昨年やっているので全く問題ないと思いますが、念の為、復習しておきます。

Wordpressとは

CMS(ContentsManagementSystem)の一種で、コンテンツ管理システムである。

ユーザ

ユーザ

ログインする・しない、また権限設定によってできることが異なる

ー人で利用する分には管理者として作成すれば問題ないですが、複数の運用を考慮すると、 権限について理解しておく必要があります。

権限の種類

- 管理者
- 編集者
- 投稿者
- 寄稿者
- 購読者

の5つの権限がデフォルトで設定されていて、できることが異なる。

5種類の権限がそれぞれできること、カスタム方法を解説

デザイン

Wordpressのデザインについて

Wordpressは管理システムであり、様々なことができます。

その中で、デザインに関する部分を担当するのがテーマとなります。

テーマは例えば、メニューの位置などの情報も含んでいるため、テーマの選定は慎重に行い ましょう。

スターターテーマ

デザインは使いやすくする最低限にしておいて、カスタマイズ前提に作成されているテーマ をスターターテーマと言います。

通常のテーマより、コントロールしやすいのが特徴となります。

Wordpress6.0の新機能

FSE(FullSiteEditing)という機能が搭載されました。

これまで、Wordpressの編集機能にて編集できる箇所は、ページのコンテンツだけであり、 ヘッダーやフッター・サイドバーはテーマで作成する必要がありました。

ヘッダー・フッター・サイドバーもブロックエディタで編集できる機能がFSEとなります。

ただし、テーマがFSEに対応していないと、利用することができません。

逆にいうとテーマが対応していると利用できてしまいます。実務で使う場合には運用する人 がこの特徴を理解していないとサイトが壊れてしまうことを意味します。

FSEについて

最近出てきたばかりなのでまだ実験段階です。 デメリットもあります。

フルサイト編集(FSE)のデメリット

まだFSEは見送りな気がします。

エディタ

エディタについて

「クラシックエディタ」と呼ばれるエディタから「ブロックエディタ(Gutenberg)」に変更に なったことにより、ぽてぽてドラッグ&ドロップすることで編集できる様になりました。 ただし、結局、

- 余白をもう少し開けたい
- ここの色を変えたい

等細かいカスタマイズはCSSに頼るしかありません。

改めてCSSのメリット

トーンアンドマナー

ブランドスタイルを決めるにあたっての、基本的な要素。 ルック&フィールとほぼ同 義。 トーンは色や陰影、明度、彩度、色相、写真やイラストの雰囲気や調子まで含まれ る。

をWebでは各ページで揃えたいですが、CSSのクラスを利用すると一気に変更してくれるこ とが最大のメリットとなります。

ですが…

やはり実際に作業していると、

• ここちょこっと直したいのにわざわざCSSいじるの?

みたいなことが起こってきます。

Elementor

最強エディタ for Wordpress?

そこで、Gutenbergをさらに便利にしたエディタが人気となっています。

Elementorです。

ここまでの話ここにうまく纏まっています はじめての WordPress(ワードプレス)とElementor(エレメンター)

Elementorでできること

- ドラッグアンドドロップで配置できる
- CSSを使わなくてもそこそこ設定可能
- レスポンシブの設定も簡単
- 既に定義されたテンプレートファイルを利用できる
- 気に入ったページをテンプレート化できる

2022年Elementorの使い方【完全ガイド】

というわけで

Elementorインストールしてみましょう。

触ってみましょう。

テーマ

ん?テーマどうするの?

elementorに相性の良いテーマというのがあります。

それを利用しないと、遅くなったりします。

Elementorと使うべきテーマ9選!

今回はまずHelloがオフィシャルなのでそれを使ってみましょう。

ん?テーマそのまま使ってよかったっけ?

テーマはそのまま使うと、後でCSS等のカスタマイズができなくなります(更新時にリセット される)。そのため、子テーマを利用するんでしたね。

子テーマを利用するには

- style.css
- functions.php

を作成する必要がありましたが....

便利な世の中ですね。作ってくれている人がいます。 elementor/hello-theme-child

子テーマのインストール

- 緑の「Code」から「Download zip」を選択
- zipファイルをダッシュボードの「外観-テーマ」「新規追加」「テーマのアップロード」でアップ
- 有効化

多分、hello elementorも自動でインストールされます。

固定ページと投稿

ページの種類

Wordpressで作成できるページには

- 固定ページ
- 投稿

の2種類ありましたね。

投稿を利用するにはカテゴリーを設定して、どのカテゴリに投稿するかを設定できました。

スラッグ

カテゴリやページには「スラッグ」と呼ばれるURLに使われる文字列を指定できます。英語 にすることを強くお勧めします。

URLの表示方法

「ダッシュボード」「設定」「パーマリンク」の設定で「投稿名」を選ぶのが一番いいと思 います。

SEO的にも有利と言われています。

ただし、スラッグをきちんと指定しないと日本語のURLとなります。



サイトの構成

サイトを利用するときにはまずは設計が必要となります。

- トップページ(固定ページ)
- 作品(投稿)
- 自己紹介(固定ページ)

くらいでしょうか?

固定ページ・カテゴリの設定

設計ができたらまずページを作成しましょう。

あ、色んな意味でページ作成時(固定ページ・投稿とも)アイキャッチ画像は設定しておきましょう。

実際にページで利用しなかったとしても、twitter,facebook等でリンクしたあと気に OpenGraphという仕組みによって、画像を表示することができます。

ま、Localで作業してる場合にはあまり意味ありませんが...

OpenGraphを有効に利用したい場合には、All in One SEOが便利です。

メニューの作成

外観-メニューにて作成しましょう。

トップページの設定

標準では投稿のアーカイブがトップページになっています。 設定 - 表示設定で固定ページを利用するように変更しましょう。

メディア

メディア

主に画像を管理します。

画像は登録した時に、代替テキスト・タイトルに目の不自由な人向けの文字列を入力するこ とが必須です。(同じでOK)

大量に画像を利用する場合には、FileBird Lightというプラグインを入れることでファイル管 理ができます(ElementorではPro版にしないと有効にならない...)

画像フォーマット

jpg, pngを利用すれば基本問題ないと思いますが、最近ではWebPがかなり利用されてきています。

WordPressサイトの画像をWebPに変換・対応できるプラグイン「WebP Converter for Media」

画像サイズについて

- レスポンシブデザイン
- Retinaディスプレイ(縦・横とも2倍のサイズにした方が綺麗)

を考えると、画像サイズについての考え方難しいです。

容量が小さい方がダウンロードにかかる時間は短い。

が、上記を考えるとある程度の画像サイズが欲しい。

相反している悩みです。

現状自分は、Retinaは重要なとき以外は考慮せず、Maxで利用される画像サイズでアップして います。



基本的にはYouTubeにアップし、それを貼り付けるのが王道ですね。







まずは、簡単にポートフォリオサイトを作成してみましょう。

終わり